

(別添)

令和6年度 長崎県立北松農業高等学校

# 学 校 評 価 表

教育方針	長崎県教育方針に基づき、高等普通教育と農業・家庭に関する専門教育を施し、道徳教育を通して、誠実な人間性と自然を大切にすることを培い、また我が国及び郷土の発展に寄与するとともに、国際社会に貢献できる調和のとれた人間の育成を目指す。	教育目標	①志を持ち、自ら学ぶ態度を育て、基礎的な学力と考える力を身につけさせる。 ②農業・家庭に関する専門的知識と技術を習得させ、実践力を身につけさせる。 ③生命を慈しむ豊かな心と健康な身体を育てる。 ④国や郷土、母校を愛し、責任と礼節を重んじ、協同・奉仕の精神を養う。
------	--	------	--

※ 4 十分に達成している 3 おおむね達成している。 2 不十分 1 殆ど達成していない

1 学校経営 「全職員が共通の理念に立った学校経営の参画における教育的成果の評価」 ※( )は、令和5年度評価値

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①経営方針	経営方針・教育目標の具現化	経営方針を学校の内外に明確にし、教職員の共通理解のもと教育活動を行う。	学校の経営方針・教育目標を意識した教育活動を実践している。	3.1 (3.0)	3.1 (3.1)	成果：年間を見通した継続的な教育活動は概ね実践できている。 課題：依然として募集定員に満たない状態であり、入学志願者をいかにして増やすかが今後の課題。今以上に本校の魅力的な教育活動の内容を外部に発信していくことが重要とを感じる。
			学校の経営方針や目標を生徒・保護者、地域社会に示すとともにHPや学校新聞等で広報している。	2.9 (2.9)	3.2 (3.1)	
②農務部目標	アクションプランの2024の推進	アクションプランに沿った取り組みを行う。	5つの基本方針にともなった実践を行っている。	3.0 (3.0)	3.1 (3.1)	成果：地域企業との共同研究等、産学官の取り組みや交流学习の受け入れなど地域貢献・地域連携は推進できている。 課題：成人大学講座等マンネリ化しているものもあるので、内容を再検討し生徒募集にもつながる活動にしていきたい。
③学年経営	教育目標の推進	教育目標に沿った経営を行う。	教育目標・学年目標の生徒への浸透を図り、目標達成のための教育活動を展開する。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	1年：特性のある生徒が複数名いる中で、担任・養護教諭・教育相談・SSW・SCの連携により適切な支援と指導ができていると思う。全体的には今後さらに進路意識を高め、学習への取り組みと基本的な生活習慣を身に付けさせていきたい。
④学級経営	学年目標の推進	学年目標に沿った経営を行う。	学級目標の実現を図るとともに生			

			徒が自己目標に沿った学校生活を送れるように支援する。	3.0 (2.9)	3.2 (3.0)	2年：修学旅行について各先生方のご協力により無事に終了できてよかった。一部不登校の生徒や、遅刻・欠席が多い生徒が心配である。また、一部クラスにおいていじめが発生し警察と連携しなければならない状況である。今後、多くの先生方の協力を得ながら解決に向け注力したい。また、今後も継続して進路意識の向上に努めなければならない。 3年：多くの先生方のご指導の下、様々な場面で確実に成長し、進路実現を果たすことができた。今後のさらなる成長と活躍を期待する。
--	--	--	----------------------------	--------------	--------------	--

2 教育活動－1 「教育活動全般における計画的、組織的な教育成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①教科指導	学力の向上	基礎学力の向上と家庭学習の定着を図る。	家庭学習の課題を与え、小テストを行うとともに検定や資格取得を奨励する。	3.0 (2.9)	3.1 (2.9)	成果：各教科で熱心に指導を行っている。検定や資格取得の働きかけも熱心に行われている。1人1台パソコンによる課題や小テストの出題・回収も年々多くなっている。図書館の活用奨励も関係分掌で熱心に行われている 課題：検定や資格取得に積極的な生徒が少なく固定されている。来年度に向けて、さらなる手立てを考える必要がある
			朝の10分間読書の指導・励行および学校図書館の活用を奨励している。	3.2 (3.0)	3.4 (3.1)	
	評価と指導の一体化	教職員の共通理解のもと適切な評価を行う。	担当教師間で評価基準を話し合い、共通理解のもとで評価を行っている。	3.1 (3.0)	3.4 (3.1)	
			評価はその後の授業にフィードバックし、生徒の実態に応じた授業の工夫改善に努めている。	3.1 (3.0)	3.2 (3.0)	
②総合的な探求(課題研究)代替	総合的な学習の推進	学習指導要領のねらいを踏まえ学校の特性を生かした活動を展	総合的な探求の時間のねらいに沿った課題研究を展開している。	3.1	3.2	成果：各学科とも地域や学科の特性、生徒の興味関心を活かした研究を進

		開する。		(3.0)	(3.0)	めることができている。また、その成果として全国的なコンクール・コンテストで高い評価を得た。 課題：1人1台パソコンを効果的に活用し、SDGsに関連した課題等にも主体的に取り組むことができるような指導を行いたい、屋外での活用には制約が多く、引き続き検討が必要である。
③特別活動	計画的な活動の遂行	学校学年の教育目標に沿った年間計画により活発な活動を展開する。	年間計画に基づき事前準備を行い各種行事運営、全校集会を展開し活発なホームルーム活動を行っている。	3.2 (3.0)	3.3 (3.0)	成果：生徒の自主性を伸ばすためのPDCAによる実施、全体の検討を実施できた。しっかりした事前準備により修学旅行やマラソン大会なども例年通りに行うことができた。 課題：コロナ禍前とほぼ同等の学校行事運営、全校集会等を計画したが、体育館の改修工事もあり制約が多かった。また、校内のネット環境なども見直す必要がある。
	自発性の涵養	生徒の自発的自主的な活動を推進する。	行事運営・委員会活動に積極的な関わりを持たせることで、生徒の自発性・自主性を涵養するとともに活発な活動を展開する。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	
	活動環境の整備	学校行事を充実させる。	学校生活の充実と発展に資する効果的な学校行事になるよう活動内容を工夫し見直しを行う。	3.2 (3.0)	3.4 (3.1)	
④道徳教育	心の教育の推進	生徒たちの規範意識の高揚と公共心を養っていく。	特別活動や学校行事、農業クラブ活動等を活用して生徒の心の教育を進める。	3.1 (3.0)	3.2 (3.0)	成果：各種委員会においては、各委員会とも毎学期に目標を立てて活動を行った。農業文化祭や体育祭もコロナ禍以前よりも盛大に実施されたことで、周囲に感謝する心もより涵養できた。 課題：地域に開かれた学校として様々な連携や地域貢献を進めている。社会の一員として登下校時の姿やマナーなど、今後も継続して指導を行うことが必要である。また、躰教育は職員だけで行えるものでもないため、保護者等との協力体制も再構築する必要がある。
	自覚を深める生徒指導	人間としての基本的マナーやルールを守る気持ち、善悪の判断ができる生徒を育成する。	容儀指導やバス・MRの乗車指導、校内外巡視等とおして、全教職員が生徒に対して躰教育を行う。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	
	教科の特性を生かした道徳教育	教科の特性を生かして、それぞれの分野で道徳心を植え付ける教育を推進する。	個々の授業時間厳守や開始時の挨拶励行、また教科内容の特性を生かした命の大切さ、モラル向上などの教育を行う。	3.0 (2.9)	3.3 (3.0)	

## 2 教育活動－2 「教育活動全般における計画的、組織的な教育成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①生徒指導	規範意識の醸成	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を図る。	授業をはじめ、学校教育活動全体を通じ、又職員や保護者との連携をとおしてきめ細かな指導を行う。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	成果：特別指導事案は3件、4名指導。いじめ事案1件発生。全職員で対応、警察の協力も得ているが、解消に至っていない。校則見直しにつ

	危機管理体制の整備	安全教育の充実。	安全な教育環境作りに努めるとともに、組織的危機管理体制を整える。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	いては生徒同士で議論できている。 課題：校則の見直しで生徒によるチェックを行っているが、自治までできていない。全校生徒に自分事として理解を促す方法を生徒考え、さらなる規範意識向上につなげていく。
②進路指導	進路意識高揚	進路意識の向上。	校内模擬試験の実施。各種講演会や学校説明会等への参加を通して早期から進路に対する意識を向上させる。	3.1 (2.9)	3.1 (3.0)	成果：4年制大学1名、農業大学校1名進学。自営1名。就職はCSSによる企業訪問や細やかな生徒対応によって、県内の様々な企業で内定を得ることができた。希望を鑑みて、県外企業への就職も増えた。企画企業による平戸での進路説明会が新規で行われるなど、1・2年生への情報提供も増やすことができた。進路決定率ほぼ100%の見込み。 課題：専門学校進学がほぼ総合選抜利用となり、かなり早い内に進路が確定してしまう。進学就職ともに推薦会議後の進路変更が出たので、保護者への周知を含めて、早期から複数回の進路確認が必要。また、分掌主催の校内行事を精選し、現状に合わせたものにする。
	就職対策	就職指導の強化。	生徒が望ましい勤労観や職業観を持てるよう指導するとともに生徒の適性に合う企業を紹介する。	3.1 (2.9)	3.2 (2.9)	
	進学対策	進学指導の強化。	生徒の興味や適性に応じた将来の職業を考えた上での進学指導を行う。そのための特別な学習プログラムを設定する。	2.8 (2.8)	2.9 (2.8)	
	就農対策	農業自営指導の強化。	農業大学校等担い手養成機関での研修、先進農家への委託実習の参加、就農希望生徒への情報提供など指導強化に努める。	2.9 (2.9)	3.0 (2.9)	
③教育相談	悩み対応	カウンセリングの充実を図る。	悩みを抱える生徒に対する教育相談を適切に行う。	3.3 (3.1)	3.5 (3.2)	成果：スクールソーシャルワーカーの新入生全員の面談を実施し、相談しやすい環境づくりと教職員との情報共有で、早期対応に繋がった。 課題：生徒だけでなく保護者にとっても相談しやすい環境づくりを目指したい。
			保護者の悩みや相談に親切に対応する。	3.2 (2.9)	3.4 (3.0)	
④健康・安全教育	健康管理と安全意識の啓発	健康・安全についての思考力と判断力を育て、意志決定する力を育てる	自分の心身の健康状態を把握し、問題を改善できる実践力を身につけさせる。	3.0 (2.9)	3.2 (2.9)	成果：長期休暇後の調査で歯科に関しては自分の歯の状態を把握できている人の割合が増えている。齲歯が2本以上ある生徒を毎月指導している成果と考える。 保健委員会のテーマ「食と健康」で1年間取り組んできた。保健だよ
			健康・安全活動の中心となる保健室の活用のしかたを身につけさせる。	3.1 (3.0)	3.2 (3.0)	
			保健だよりの講話により「健康教育			

			」を推進する。	3.3 (3.1)	3.4 (3.3)	り等の掲示物で、全校生徒に情報信が出来た。
			感染症予防に対する正しい知識を身につけさせ、感染予防に努めさせる。	3.1 (3.1)	3.3 (3.1)	課題： 歯科受診に関して、保護者の理解と本人の意識付けが必要。
⑤人権・同和教育	同和教育の推進	人権問題に対する意識を持たせて解決するための実践力を身に付けさせる。	人権尊重の視点で教育活動を展開し、生徒に人権課題を解決しようとする態度を養う。	3.1 (2.9)	3.2 (3.0)	成果：人権教育を通して他者を思いやる気持ちを持つ大切さを醸成できた。 課題：他分掌と連携を取りながら人権教育（特にいじめ問題）を進めていく必要がある。
⑥心の教育	いじめの抑止	思いやりの心を育成する。	心の教育の推進に向けて意識の高揚を図り、分掌・学年等の連携を密にして教育活動全体を通じて指導する。	3.2 (3.0)	3.2 (3.0)	成果：クラスに掲示する「いじめ撲滅宣言」を作成した。 課題：自分の言動が周囲に嫌な思いをさせていることに気づかない生徒への指導。
⑦特別支援教育	特別支援教育の推進	対象生徒への支援方法や技術等について研鑽を深める。	特別支援教育について校内研修を行うとともに、対象生徒の支援について教職員間の連携を密にする。	3.2 (3.0)	3.3 (3.0)	成果：特別支援における就労支援の伝達職員研修で障がい開示のメリット、合理的配慮について情報共有を行った。 課題：聴覚障がいに関する職員研修の必要性を感じている。
⑧部活動	部活動の推進	各部活動を通じて、生徒の個性や能力等の伸張に努める。	部活動への参加を奨励し、生徒は活発な活動を行う。	2.7 (2.7)	2.8 (2.8)	成果：軟式野球部夏・秋大会九州大会出場、相撲部新人九州大会出場、権現太鼓部県高文連銀賞受賞、農ク県連大会意見Ⅲ・情報最優秀、優秀賞等。 課題：部活動の活性化のためにも生徒数と職員数のバランスを考慮した今後の部活動数の検討が必要である。
			部活動を通じて、生徒が達成感を持ち、好ましい人間関係づくりや個性の伸長を図ることのできるよう指導する。	2.8 (2.8)	3.0 (2.8)	

3 組織運営 「教育活動の円滑化、教師集団の共同性に関わる教育的成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①校務分掌	組織体制の機能化	各自の役割分担が明確で適切に仕事を処理する。	分掌、学年、教科等の役割分担と連絡調整を適切に行い学校全体の業務を円滑に実施する。	2.9 (3.0)	3.1 (2.9)	成果：職員相互の連携がなされ、行事や学校運営は滞りなく実施することができた。 課題：働き方改革をすすめる中で、行事の精選や会議、部活動の在り方など効果的な取り組みを行う必要がある。
②各種委員	各種委員会の活性化	各種委員会の活動の効率化と活性化を図る。	各委員会での結果が教育活動や学校経営等に生かされている。	2.9 (2.9)	3.1 (3.0)	成果：体育委員中心のクラスマッチや体育祭等の実施、風紀委員による校則についての議論、保健委員の農文祭での展示、図書委員の日々の活動など各委員会工夫を凝らした活動をすることができた。 課題：各種委員会の目標や日々の活動内容について生徒・職員全体に周知し理解を深め、活発な活動に繋げるよう指導していきたい。
③校内研修	教職員の資質向上	教科指導力、生活指導力等を向上させるため、校内研修を実施する。	研究授業・授業参観等の機会を設けるなど、全職員による校内研修を行い指導力の強化を図る。	2.8 (2.8)	3.0 (2.9)	成果：1学期に実施した公開授業は例年より多くの先生に参加いただくことができた。 課題：人権教育に関する研修を実施する必要がある。また、公開授業についてもより効果的な実施方法の検討が必要である。
			校外研修の成果を教職員に伝達し知識の共有に努めている。	3.0 (2.8)	3.1 (2.9)	

4 教育環境 「学校の置かれている条件や環境に関わる教育的成果の評価」

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①環境整備	美意識の高揚	学校環境の美化意識を高め自然環境を守る態度を養う。	清掃活動に積極的に参加させる。	3.0 (3.1)	3.2 (3.1)	成果：日頃の清掃活動では先生方のご指導のおかげで校内美化に努めることができた。 課題：掃除道具の入れ替えや不足分の購入。 生徒数の減少により、手が回らない箇所への分担。
			ゴミの分別を徹底させるとともにエコ活動を推進する。	3.1 (3.1)	3.3 (3.2)	

②施設・設備の管理	施設設備の維持管理	施設設備の効率的な維持改修と安全管理に努める。	施設設備の定期的な安全点検や補修を行う。	3.2 (3.0)	3.3 (3.0)	<p>成果：今年度は大規模工事のため学校行事等で教職員・生徒に迷惑をかけることが多かったが、可能な限り授業に支障のないよう対応出来たと感じる。また小修繕についても限りある予算の中で優先順位をつけ、一つずつ解決出来た。次年度は教室棟トイレ改修工事も予定されているため授業等に支障が出ないように最大限の配慮をすることを目指す。</p> <p>課題：夏の酷暑によりエアコンの使用量が増えたことで電気代の高騰は避けられなかった。生徒・教職員の健康管理を第一に考えると今後もエアコンの節電は難しい。次年度体育館照明LED化が予定されているため、節電を期待したい。</p>
		電気使用料を前年度比で2%削減する。	電灯、エアコン等の節電に努める。	3.0 (3.0)	3.2 (3.0)	
③情報インフラの整備・充実	業務の効率化	パソコン等で校務を適切に処理する。	パソコンによる校務処理を推進し、データの共有化を図る。	3.1 (3.0)	3.1 (3.1)	<p>成果：Webページでは、学校行事や授業風景などを配信することができた。また、教務部でインスタグラムへの投稿をしていただいた。</p> <p>課題：より多くの更新を行う必要がある。</p>
	学校情報の発信	Webページを見やすくし、定期的に更新を行う。	Webページを毎月更新し、学校情報の積極的発信を行う。	2.9 (2.8)	3.1 (2.8)	

## 5 開かれた学校

評価項目	具体項目	目 標	具 体 的 方 策	中間	総括	成果と課題
①保護者や地域・関係機関との連携	保護者との連携強化	生徒の問題点を相互に共有する。	生徒の状況について、保護者と緊密に連携を取り相互に情報提供を行う。	3.2 (3.1)	3.2 (3.1)	成果：今年度、農業文化祭は、親の目ふれあい文化祭として、保護者が職員瀬戸と連携して、文化祭の販売や収穫など、前年度以上に保護者が協力的であった。 課題：親の目ふれあい（挨拶運動）が形骸化している。時間帯の問題もあるので検討すべきである。
	P T A活動の推進	保護者の来校機会を増やす。	公開授業や施設見学、体験学習、生徒発表会等、保護者が来校する機会を設ける。	3.1 (3.0)	3.2 (3.0)	
	積極的な学校P R	学校の情報を発信する。	学校の教育活動を月1回を目途にマスコミ等への広報に努める。	2.7 (2.9)	3.0 (3.0)	
	開かれた学校の推進	地域住民や地域の学校に学校を開放する。	県民大学やキッザニアの実施、地域の小・中学校及び養護学校の体験学習を積極的に実施する。	3.1 (3.1)	3.2 (3.1)	
	学習成果の公開	学習の成果を地域に公開する。	学校農産物の地域販売や学校給食への供給、研究活動発表等、学習成果をアピールする。	3.1 (3.0)	3.3 (3.1)	

### 【総 評】

評 価 の 結 果 (課題と問題点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 家庭学習の習慣定着と共通評価の確立。生徒の主体的な授業展開の実践。</li> <li>② 生徒への進路意識の早期向上と勤労観や職業観の強化。自営指導を含めた県内就業の魅力強化。</li> <li>③ 教育活動の展開と学びの保障のためのI C T機器の活用。</li> <li>④ 多様な生徒への生徒指導上の問題やS N S等からの問題への案件への対応の強化。</li> <li>⑤ 志願者確保のためさらに学校P R並びに中学校に対する本校の魅力発信。</li> </ul>
来 年 度 の 改 善 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キャリアパスポートの有効活用。教科ごとの観点別評価の実践定着。</li> <li>② 進路決定率100%を目指すため、2年生からの進路説明会や企業見学を積極的におこなう。キャリアサポートスタッフによる生徒への積極的な県内就職支援を行う。</li> <li>③ I C T機器を活用した授業展開等の職員研修実施と休校等による授業対応の検討。</li> <li>④ 共通理解のための職員研修の充実。民間企業を活用した連携事業の拡充</li> <li>⑤ 定員確保に向けたP R内容（進路実現に向けた取り組み）を検討する。</li> </ul>

## 令和6年度 学校評価アンケート【生徒】集約結果

※各項目の評価基準は、次のとおりです。

長崎県立北松農業高等学校

<4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない>

評価項目	No	具体的な評価内容	R5 平均	1学年 平均	2学年 平均	3学年 平均	R6 平均	対前年 変化
教育活動全般	1	北松農高に入学してよかったと思う。	3.2	3.4	3.4	3.2	3.3	↑
	2	学校は、教育方針や学年・学級目標を示してくれる。	3.0	3.3	3.3	3.1	3.2	↑
	3	先生方は、あいさつするとあいさつを返してくれる。	3.3	3.6	3.4	3.4	3.5	↑
	4	先生方は授業で、基礎学力が向上するように努力してくれる。	3.3	3.5	3.4	3.1	3.4	↑
	5	先生方は、家庭学習のための課題を出してくれる。	2.9	3.3	3.2	3.0	3.2	↑
	6	学校での実験・実習は自分にとって将来役に立つと思う。	3.3	3.4	3.3	3.2	3.3	→
	7	学校は、資格取得の指導に熱心である。	3.2	3.5	3.4	3.2	3.4	↑
	8	テストの得点以外の面からも学習の評価がされている。	3.3	3.4	3.6	3.3	3.4	↑
	9	学校は、校則や社会のルールを守るよう熱心に指導している。	3.4	3.6	3.6	3.4	3.5	↑
	10	学校は、進路実現のため熱心に取り組んでいる。	3.4	3.5	3.6	3.4	3.5	↑
	11	学校は、悩みや相談に親身になって対応してくれる。	2.9	3.3	3.5	3.0	3.3	↑
	12	学校はいじめのない環境作りのため指導を続けている。	3.0	3.3	3.5	3.0	3.3	↑
	13	学校は、部活動や各種コンテスト等の指導に熱心である。	3.1	3.5	3.4	3.2	3.4	↑
	14	学校は、読書指導に熱心である。	3.1	3.0	3.3	3.1	3.1	→
生徒活動	15	学校の雰囲気が良く、学校生活は楽しい。	3.0	3.3	3.2	3.0	3.2	↑
	16	意欲的に学習に取り組んでいる。	2.9	3.0	2.9	2.8	2.9	→
	17	自己目標を持って学校生活を送っている。	2.8	3.0	3.0	2.8	2.9	↑
	18	自分から進んであいさつをしている。	3.2	3.3	3.4	3.2	3.3	↑
	19	校則を守り、高校生らしい身だしなみをしている。	3.3	3.4	3.5	3.4	3.4	↑
	20	朝の10分間読書はしっかり取り組んでいる。	3.4	3.4	3.6	3.4	3.5	↑
	21	日ごろから健康管理に努めている。	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	→
	22	省エネを理解し、節約・節水に努めている。	3.0	3.2	3.0	3.2	3.2	↑
	23	災害時や緊急時には、どのようにすればよいか知っている。	3.1	3.2	3.1	3.2	3.2	↑
環境教育	24	学校や農場は、きれいに清掃されている。	3.1	3.4	3.4	3.1	3.3	↑
	25	学校は、危険箇所等への配所があり安全である。	3.3	3.5	3.4	3.1	3.4	↑
学れ開校たか	26	農場では、地域の住民や児童・生徒との体験学習の機会が多い。	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	↑
	27	学校は、ボランティア活動の推進に積極的である。	3.0	3.1	3.0	3.1	3.1	↑
その他	28	授業以外に1日30分以上学習している。	2.0	2.4	2.1	2.2	2.2	↑
	29	家庭では、あいさつ礼儀・マナーなどについて注意される。	2.9	3.1	3.1	2.9	3.0	↑
	30	朝食を食べている。	3.4	3.5	3.3	3.3	3.4	→
	31	夜は12時前に寝ている。	2.9	3.1	3.1	2.6	2.9	→
在籍数			189	62	55	64	181	/
回答数			183	58	50	54	162	/
回答率(%)			96.8	93.5	90.9	84.4	89.5	↓

## 令和6年度 学校評価アンケート【保護者】集約結果

※各項目の評価基準は、次のとおりです。

長崎県立北松農業高等学校

<4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない>

評価項目	No	具体的な評価内容	R5 平均	1学年 平均	2学年 平均	3学年 平均	R6 平均	対前年 変化
教育活動全般	1	本校に入学させてよかったと思う。	3.6	3.7	3.6	3.5	3.6	→
	2	学校は、経営方針や育てたい生徒像を示している。	3.2	3.3	3.4	3.2	3.3	↑
	3	先生方は、よくあいさつをしてくれる。	3.3	3.6	3.5	3.3	3.5	↑
	4	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	2.9	3.2	3.1	3.0	3.1	↑
	5	先生方は、家庭学習のための宿題を与えてくれる。	2.9	2.9	3.0	3.1	3.0	↑
	6	学校での、実験・実習は子どものためになっている。	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6	→
	7	学校は、専門高校として適切な実験・実習や職業資格取得の指導に努めている。	3.4	3.7	3.6	3.5	3.6	↑
	8	テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価がなされている。	3.4	3.6	3.6	3.4	3.5	↑
	9	学校は、校則や社会のルールを守らせようと指導している。	3.3	3.5	3.4	3.3	3.4	↑
	10	学校は、生徒の進路実現のため適切な指導している。	3.2	3.4	3.4	3.3	3.4	↑
	11	学校は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	3.1	3.3	3.3	3.2	3.3	↑
	12	学校では、部活動や各種コンテスト等の指導に熱心である。	3.2	3.6	3.2	3.3	3.4	↑
	13	学校はいじめのない環境作りのため指導を続けている。	3.0	3.3	3.2	3.1	3.2	↑
	14	子どもは、自己目標を持って学校生活を送っている。	3.0	3.3	3.2	3.2	3.2	↑
	15	学校の雰囲気がよく、子どもは楽しく学校生活を送っている。	3.2	3.4	3.3	3.3	3.3	↑
	16	学校は、子どもの様子や健康に関する情報を伝えてくれる。	3.1	3.2	3.3	3.1	3.2	↑
	17	学校では、災害時や緊急時の対応に関して指導がなされている。	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	↓
	18	学校は、地域に根ざした特色ある教育活動を展開している。	3.4	3.5	3.4	3.4	3.4	→
	19	専門的知識が豊富で、授業内容について信頼できる先生が多い。	3.2	3.4	3.4	3.3	3.4	↑
環境教育	20	授業に必要な施設・設備が整っている。	3.4	3.6	3.5	3.2	3.4	→
	21	学校は、安全管理や緊急時の対応など配慮している。	3.3	3.5	3.3	3.3	3.3	→
	22	学校は、校舎内外の環境整備に努め安全である。	3.3	3.6	3.4	3.4	3.4	↑
学開かれた校た	23	学校は、保護者が授業参観や施設見学をする機会を設けている。	3.2	3.2	3.2	3.3	3.2	→
	24	学校は、保護者や地域の人々に農場や体育館などの施設を開放している。	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	→
	25	学校は、学校内の状況を保護者や地域に広報している。	3.2	3.3	3.4	3.2	3.3	↑
	26	学校は、気軽にいけるような雰囲気にある。	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	↑
その他	27	家庭では、毎日(30分以上)するよう指導している。	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	↑
	28	家庭では、服装やマナー・あいさつについて指導している。	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3	→
	29	朝食は食べさせている。	3.6	3.8	3.4	3.5	3.6	→
	30	子どもは、夜12時まで寝るように指導している。	3.3	3.5	3.3	3.3	3.4	↑
在籍数			189	62	55	64	181	↓
回答数			179	45	52	64	161	
回答率(%)			94.7	72.6	94.5	100.0	89.0	

## 令和6年度長崎県立北松農業高等学校関係者評価 報告

1 評価の実施期日・場所 令和7年2月14日（金） 本校 校長室

### 2 学校関係者評価委員

委員氏名	学校評議員との兼務の有無	当日の出欠
西山芳幸	兼務	出席
山口一平	兼務	出席
今村達也	兼務	出席
川波寿雄	兼務	出席
吉田祐也	兼務	出席

### 3 学校関係者評価の内容

#### (1) 学校評価（含む生徒・保護者アンケート）の結果について

- ・全体的に生徒、保護者共に満足度が高く、ほぼすべての項目において昨年度より上昇傾向にある。また、生徒の「北松農業高校に入学してよかった」【3.3】、保護者の「子どもを北松農業高校に入学させてよかった」【3.6】とそれぞれ高い評価を得ているのは、とても素晴らしく、学校全体が活気づいている証拠であろう。
- ・生徒・保護者共に「授業以外で自主的に学習している」項目が低く、家庭学習の定着が必要である。今後の指導をお願いしたい。
- ・制服の変更や校則の見直しなど、時代の変化に対応した取り組みには好感が持てる。生徒や保護者、地域のニーズに合った改善をお願いしたい。

#### (2) 学校評価の結果を踏まえた今後の改善策について

- ・北農にかかわらず、県全体として若者の県外流出が深刻である。今後も地域との密着を深め、ふるさとの良さを知ってもらい地域への就職に繋げてほしい。また、農業関連産業従事者や農業大学校進学者が増加するような取組を今後も強く進めてほしい。
- ・生徒の回答率が低いのが気がかり。来年度はアンケートの実施形態を検討してみてもどうか。
- ・文化祭や体育祭の時の分校との交流がとても良いと思う。いろいろな経験を通して北農に進学した生徒がいると思うが、高校での生活を通して視野を広げ、自己表現できる場になっている。そのためには先生方職員の心身のゆとりが必要だと思う。

#### (3) 学校の重点目標や学校評価の評価項目について

- ・生徒、保護者ともに昨年度と比べ全体的に数値が向上している。今後も北農ならではの経験を通して、社会で活躍できる人物の育成に力を入れてほしい。
- ・今後も生徒の学校生活の内容や活躍している様子を「SNS」や「YouTube」などを活用し、広くPRすることで、生徒募集の充実につなげてほしい。

#### (4) 学校運営の改善に向けた実際の取組について

- ・備蓄を含めた災害時の対応を今以上に充実してほしい。
- ・北農は田平町内唯一の高校である。ぜひ、協力をしたいので学校側からも様々な提案をお願いしたい。